

12月にはいります。少し寒い季節になりました。合格講座・中上級の講義がゆっくりと始まりました。毎回の講義が、皆さんの受験勉強の流れを作ります。

■初めての学習の方

さて、受験勉強ポチポチはじめますよ。勉強するからには楽しく学びましょう。冗談、雑談沢山喋ります。興味を持って勉強すれば自然と知識も頭に定着します。カリキュラムに従ってください。法律は難しい。そうですね。何が難しいのか?? 言葉です。独特な用語や言い回しです。特定、特別、特例・・・。まずこの言葉に慣れましょう。

★テキストの活用

① テキストは合格の柱	テキストはぼろぼろにする
② オリジナルテキストを作る	すべてはテキストに記載する
③ 工夫は必要	何が重要なのか記号等を入れる
④ サブノートは不要	知識の分散はやめる
⑤ 選択式対策ノート	試験当日まで3冊書いて書いて覚える

受験の生命線はテキストです。ぼろぼろになるまでテキストを読みこみます。特にAランク何回でも、とにかく読むことです。テキストのタイトルに読んだ日付を書き残す。

◎最初に自分で勝手に色はつけない

テキストにカラーマークはむやみに塗らない。勉強を始めたばかりの頃は、すべて部分が重要に思え、ついついたくさんのラインをテキストに引いてしまいます。

出題可能性の低い箇所でも下線を引くと、直前期にどこが重要なかわからなくなり大混乱を生みます。結果としては合格から離れた学習をしていることになりかねません。

テキストは出る可能性の高い、箇所のみには色は塗るのが鉄則です。ただし、各条文には選択対策として指示した箇所はマーカーを入れます。

■講義

まずは講義に慣れること。2時間半は長い。復習ではしっかりと問題集で、試験問題の傾向を検証しましょう。用語や数字で最初は混乱しますがテキストを読み込む内に必ずわかるようになります。

★労基法だけでも深く勉強すれば3年はかかる

社労士試験の受験勉強は学者や教授になることが目標ではありません。専門的な内容は合格後に学習することと割り切ります。各科目ともそれなりに奥は深いことに注意。大切なのは、合格するために学習に徹することです。ここは講義で強調します。

★細かい部分は切り捨てる・・・・・・・・・・袋工事に入ってはいけない

労働法令集にはたくさんの条文があります。受験範囲は膨大な量です。全ての条文の理解は必要ありません。ある程度の勉強をこなして初めて関連条文の理解が出来ます。

テキストの内容も過去問を基本に作成されているために、有る程度省略している箇所もあります。それは受験ではここまでで、これ以上はやめましょうというサインです。細かい部分は切り捨てましょう。

■初学者の勉強時間

★目標は1日最低2時間は確保してください。当初考えている以上に範囲は膨大です。

★コマ切れ時間の活用・・・・・・・・・・時間は工夫で生み出す

「明日の2時間より、今日の30分」を確実に勉強して下さい。

★土日や当てるにしない・・・・・・・・・・1日勉強8時間集中できない

はたして1日に8時間も集中して効果的な勉強ができるでしょうか？勉強はまとめてやるよりも、全体的に回数を多くこなすほうが効率的です。

■再受講生の方

11月から本論講座が始まりました。再受生の方少し元気がでましたか？8月9日に受講相談を実施しました。多くの方に来て頂きました。選択的に苦しむ人。1点に泣いている人。皆さんの顔をみていると毎年ですが心が締め付けられます。結構タフに見える私ですが本気で相談にのっています。相手の立場や悩みを自分なりにアドバイスするときは非常に悩みます。どうすれば悩んでいることが解決できるのか？

試験場は独特な雰囲気です。時間配分等受験には戦い方が必要です。私も受験経験3回です。試験は人間修業。冬もあれば晴れもある。雨も降れば天気にある。

12月の勉強はゆっくり進みます。この間「労働一般常識」の一部を勉強してください。

特に労働契約法、労働組合法は時間をかけてください。

■受験の10箇条・・・試験にはコツがある！！

試験で問われるものは何でしょうか？試験では「解答力と時間」が問われます。

解答力とは点数がとれる勉強方法です。つまり、出題者の意図を汲み取って答えるのです。社労士試験では出題範囲がある程度限られています。たまに難問といわれる問題もありますが、合否には関係ありません。58点も48点も合格は同じ。

ここに列挙した受験の10箇条は受験のエキスです。

①作戦、兵法なしにて戦はかてぬ。

今日1日なにを勉強するか決めていないと空白の1日となります。スケジュールを立て、

毎日1時間でも継続して行うことが大切です。頭のなかで考えないでとにかく紙に書き出してみましょ。大まかな事項を無理がないように設定していくのがコツです。

②数字・用語

キストは最低5回は読みます。読み込むことで、自然な形で頭のなかに知識は整理されています。最初の3回目ぐらいまでは、とにかく時間がかかりますが、それを過ぎると非常に早いスピードになります。「あそのの、あの箇所に書いてあった」位まで行けばむりやりの暗記ではなく知識として頭のなかに固定されていきます。

③くれぐれも迷って新たな教材を探すことはしないこと

知識の分散は非常に危険です。基本テキストと問題集で勉強します。

④改正法は選択式

社労士試験は毎年改正があります。改正法は選択式対策として勉強します。

⑤専門的な内容は合格後に学習する。

試験合格のための勉強に徹すること。合格するために学習すること。難解な??の個所が必ずあります。講義ではかるく解説しますが、試験では問われる可能性が低いと考えてください。直前では捨てる勇気も必要になります。

⑥勉強が暗礁に乗り上げてしまった場合は

まだ講義がはじまったばかりですから、いまから暗礁はないですね(笑)。ただ、1年間という長い時間のマラソンです。気持ちが乗らないときは思い切って1日遊ぼう。

⑦直前期には切り捨てる勇気も必要

100のあやふやな知識よりも確実な50の知識のほうが点数は取れます。気になり始めれば終わりが無いのが法律です。なんでもかんでもと範囲を広げるのは合格からは遠のくばかりです。

⑧一般常識は広く浅く

択一、選択ともに一般常識がくせ者で最後まで気になる科目です。あなたが、そうであれば皆も同じです。過去問の出題傾向をみて対策を打ちます。

⑨受験の禁句

1. 時間がない 2. 仕事が忙しい 3. 年だから暗記が苦手 4. 勉強の場所がない
5. 今年は練習 6. 知識を学べば十分 7. 学校が悪い、講師が悪い(これはグサツキます) 8. 私には無理

⑩最後は自分を信じる!

試験直前当日は、気力で勝負。努力した分必ず報われます。全力を出しても学力が合格に届かなければ、それは気持ちが切り替えられるのも早い。最後は自分を信じて結果はあとで付いてくると考え自分自身との戦いに入ることです。

■合格体験記

★合格体験記（Aさん）（ご本人の体験記個人情報等の関係で一部修正しています）

やっと合格でき、これまでを振り返ると合格前の最後の2年間は択一も50点を超えられたので結果的に自分として正解な勉強方法だったと感じます。

まずは、山下先生その他先生方を信じることです。山下先生の講義では、条文番号にこだわる、数字にこだわる、過去問にこだわる、とのことで、これまでの勉強方法とは違った観点でしたが、その通り意識をしながら学習しました。

条文番号については、それまではピンポイントでの知識だったのが法律の流れを意識できるようになり横断学習にも活かされました。また過去問はやってはいたのですが、そこまで回数をこなしていなかったのですが、過去問集が付箋やチェックだらけになるほど、**最低でも5回は繰り返し解きました。**

★次は勉強時間の確保とモチベーションの維持です。

私は子育てと仕事もしながらの勉強でしたので、机に向かう勉強時間がほぼ取れませんでした。机に向かうことができるのは、早朝の4時~6時までのみで夜は睡眠にあてていました。ただ子供も何故か早く起きてきてしまい、そうなる中断することになり、正直イライラしてしまうことも多かったです。あとは通勤時間がかなりあったので、講義をダウンロードして、毎日行き帰りで講義を聞いていました。

お昼休みは外に出て、過去問などを解く時間にあてました。土日仕事をしたり、家族の用事があり、丸一日勉強に充てられる日はなかなかなく、その分、最後の年は思い切って通学講座にし、毎週日曜日は勉強に集中することにしました。その間、子供を見てくれた夫には感謝です。

長年受験生をしているとモチベーションの維持にも苦労しました。毎年毎年合格者を見送る立場となり、正直腐ってしまっていた時期もあり、勉強から離れたこともありました。しかし、LECの受講をはじめからは、先生のユニークなキャラクターに笑わせてもらったり、色々な先生の無料のセミナーをZOOMで受講したり、時にはテレフォンチューターで先生に直々に話を聞いていただいたり、LECの窓口のスタッフの方にアドバイスをいただいたりと、モチベーション低下している暇もないほど、勉強に集中できた2年間だったと思います。**楽しんで学習が、でき、結果合格もできたなという感覚でいます。**

社労士試験は範囲もものすごく大変な試験ですが、諦めなければ必ず合格できる試験だと思うのでがんばってください。学んだことは一生物になります。私もこれから勤務社労士として活躍したいと思っています。

★中上級（平日）12月予定

12月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
1日	金		問題集
2日	土		問題集
3日	日	予備	
4日	月	労基④	
5日	火		テキスト読み込み
6日	水		問題
7日	木	労働安全解き方	
8日	金		解き方問題集
9日	土		解き方問題集
10日	日	予備	
11日	月	労働安全①	
12日	火		テキスト読み込み
13日	水		テキスト読み込み
14日	木	労働安全②	
15日	金		テキスト読み込み
16日	土		テキスト読み込み
17日	日		問題集
18日	月	労基・安全確認テスト	
19日	火	労基・安全予想テスト	
20日	水		テスト復習
21日	木		パートタイム・有期雇用労働法
22日	金		高年齢雇用安定法・男女雇用機会均等法
23日	土		最低賃金法・賃金の支払いの確保等 数字まとめ
24日	日		用語のまとめ
25日	月		育児介護休業法
26日	火		育児介護休業法（雇用保険関連）
27日	水		育児介護休業法（健康保険関連）
28日	木		育児介護休業法（厚生年金関連）
29日	金	休み	
30日	土	休み	
31日	日	休み	

★中上級（休日クラス）12月予定

12月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
1日	金		労働安全問題集
2日	土		労働安全問題集
3日	日	労働安全①②	
4日	月		テキスト読み込み
5日	火		テキスト読み込み
6日	水		労働安全問題集
7日	木		労基テキスト
8日	金		労基問題集
9日	土		労基問題集
10日	日	確認テスト・予想テスト	
11日	月		テスト復習
12日	火		用語のまとめ
13日	水		用語のまとめ
14日	木		数字のまとめ
15日	金		数字のまとめ
16日	土		労災テキスト読み込み
17日	日	労災解き方①②	
18日	月		解き方復習
19日	火		解き方復習
20日	水		高齢雇用安定法・男女雇用機会均等法
21日	木		パートタイム・有期雇用労働法
22日	金		パートタイム・有期雇用労働法
23日	土	労災テキスト読み込み	
24日	日		最低賃金法・賃金の支払いの確保等
25日	月		育児介護休業法（雇用保険関連）
26日	火		育児介護休業法（健康保険関連）
27日	水		育児介護休業法（厚生年金関連）
28日	木	予備	
29日	金	休み	
30日	土	休み	
31日	日	休み	

■合格講座（土曜クラス）12月予定

12月	曜日	講義 科目	勉強のポイント
1日	金		テキスト読み込み
2日	土		テキスト読み込み
3日	日	予備	
4日	月		労基問題
5日	火		労基問題
6日	水		労基問題
7日	木		労基問題
8日	金	予備	
9日	土	労働安全①②	
10日	日		テキスト読み込み
11日	月		テキスト読み込み
12日	火		安全衛生問題
13日	水		安全衛生問題
14日	木		労基法テキスト
15日	金		労基法テキスト
16日	土	確認テスト	
17日	日	予備	
18日	月		数字のまとめ
19日	火		数字のまとめ
20日	水		数字のまとめ
21日	木		用語のまとめ
22日	金		用語のまとめ
23日	土	予備	
24日	日	予備	
25日	月		選択式問題を解いてみる
26日	火		選択式問題を解いてみる
27日	水		選択式問題を解いてみる
28日	木		選択式問題を解いてみる
29日	金	休み	
30日	土	休み	
31日	日	休み	